

## みみちゃん通信 NO.4 岐聖大ふぞく幼稚園 発行

幼稚園ではプール開きをしたものの、雨の日も多くなかなか水遊びを楽しむことができません。砂、水、泥んこは子どもの遊びに欠かせないもので、感触をからだ全体で味わいながら遊びに没頭する子どもの表情は実に生き生きとしています。晴れ間には園庭で出てシャボン玉や泥団子作り、型抜き、水たまりにも足を入れてバシャバシャと遊んでみたいと思っています。



今、幼稚園で子ども達が楽しんでいる遊びの材料をご紹介します。

### よくふくらむシャボン玉液

材料...台所用洗剤（界面活性剤が含まれているもの）水  
せんたく糊（PVA=ポリビニールアルコールが含まれているもの）  
作り方...台所用洗剤・せんたく糊・水を1：1：6の割合で調合します。のりが入ることにより弾力性がよく割れにくくなり、砂糖を少量入れると虹色がきれいになります。ぜひお試しください。

### こねこね小麦粉粘土

材料...小麦粉（カップ2）塩（小さじ1）水（適量）サラダ油（少々）  
食紅・カレー粉など  
作り方...小麦粉・塩をボウルに入れ、少しずつ水を加えてこねます。耳たぶくらいのやわらかさになったら出来上がりです。仕上げに油を入れると手に付きにくくなります。色を付けたいときは食紅やカレー粉をまぜましょう。ビニール袋に密閉して冷蔵庫に入れれば1週間くらい持つので、繰り返し遊ぶことができます。

## 知っておこう！トイレトレーニング

排泄の自立には個人差があり、入園までにオムツが外れない子どもいます。大人が必要以上に焦ったり、心配したりすることなく、子どもの成長に合わせてゆったりと進めていきましょう。

<排尿のメカニズム>生まれたばかりの赤ちゃんは、大脳が未発達なため尿意は感じず、ぼうこうに尿がたまると延髄の反射で尿がでます。その後、一人歩きができ、言葉を話すなどの成長に従い、大脳の働きが活発になることで尿意を感じるようになります。神経回路が発達すると「ぼうこうがいっぱいになるまで尿をためておく」

「尿意を感じて、大人に知らせるか、自分からトイレに行く」「トイレに行ってから排尿する」というように自立していくのです。



（学研 「ほけんだより 12か月」より）